

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年12月9日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月9日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1ページ目の一番下、12月13日の（3）、第1100回審査会合です。

議題は2つで、1つ目は、女川2号機の新規制基準の保安規定です。

2つ目は、島根3号機の新規制基準の許可ということで、これは前回9月29日に続き解析コードの確認などということになります。

次が、12月15日の（6）、第1101回審査会合。

議題は2つでして、ともに火災感知器のバックフィットの設工認となります。

伊方の3号機が1件目で、2件目が九州電力関係、つまりは玄海3・4号機と川内の1・2号機ということで、どちらも今回でおおむね了となる可能性があります。

次が、12月15日の（7）、3条改正の許認可手続に関する被規制者との意見交換会とあります。

ここで言うところの被規制者というのは、電気事業者を除いた研究炉、JAEA（日本原子力研究開発機構）などということになります。こういった人たちに書類の添付漏れとか手続の不備が多く発生したというのがありまして、それは彼らだけが悪いわけではなくて、我々のほうにもいろいろ課題があったということもありまして、改善のために定期的に意見交換をするということになったものの2回目です。

前回、6月27日に1回目をやりまして、その場に出てきた意見への回答とか、今後の審査プロセスの改善についての意見交換といったことが行われます。

次が、12月15日の（8）、東海再処理の安全監視チームです。

議題は2つありまして、1つ目がTVF（ガラス固化技術開発施設）の状況について、9月に運転停止になったわけですが、その原因の調査の状況とか今後のスケジュールといったことについてJAEAから報告があります。

2つ目は、廃止措置と保安規定の変更申請についてとありますけれども、6月30日に申請があったもののうち、消火設備と照明設備の部分について、火災防護対策上の評価をする必要があるので、一回申請を取り下げますといったような説明があります。

次が、3ページ目、12月15日の（9）、第1102回審査会合です。これは特定重大事故等対処施設が議題のため非公開となっています。

議題は1つで、島根2号機の特重の許可ということになります。

次は、12月16日の（10）、量子科学技術研究開発機構部会、QST部会と呼んでいますが、これは11月22日の委員会で、QSTの次期中長期目標の案が了承されたことを受けまして、審議会では有識者から意見を聞くという手続になります。この場で有識者の意見を聞きまして、改めて委員会に報告をして、中長期目標を決定していくという流れになっていきます。

次が、12月16日の（11）、第1103回審査会合です。

議題は3つで、1つ目が東北電力の審査会合資料作成における品質保証についてとありますけれども、これは9月30日の審査会合で、東北電力作成の資料に誤りがありまして、資料作成の品質保証はどうなっているのかという確認をするものです。

2つ目も同様に、浜岡の審査会合資料の品質保証についてということで、こちらは前回、4月15日にも同じ議論をしたみたいですが、それについての議題ということになります。

3つ目は、川内1・2号機の標準応答スペクトルの件であります。

これは12月2日に続いて地下構造モデルについての議論ということですが、

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

ご質問はよろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングはこれで終了としたいと思います。ありがとうございました。

—了—